

---

# 再生

duck

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
再生

【Nコード】  
N7685B

【作者名】  
duck

【あらすじ】  
人生をやり直したいと思った。無理なのはわかってるけど。

何もかも初めからやり直したいと最近よく思うようになった。彼氏に振られたり、会社を辞めさせられたり、原因はその時々で複雑だけれど、いつも向こうから一方的だ。

出来れば、生まれた瞬間に戻りたい。全てをやり直して、最高の人生を。

テレビのスイッチを入れた。クイズ番組がやっている。  
選択の問題。

彼女には答えがわからなかったようだ。首を傾けて、解答を待った。

コーヒーのポットが音を立てる。彼女はそちらに手を伸ばすが、視線はテレビ画面上にあてられている。

まもなくして、難しい問題に解答者はあえなくドロップアウトを決めた。

彼女はそれが良い判断だと評価した。

自分があの場合にいても、同じことをしていただろう。

それが正しい。

彼女は答えを聞かずにテレビのスイッチを切った。

熱いコーヒーをすする。手には求人広告。それを眺めながら、彼女は先ほどの問題について考えた。

10分ほど考えて諦める。

そして彼女はそのことを忘れた。今はそんなことを考えている場合ではないと思ったからだ。

それから5分後、彼女は受話器を手にとって、面接の約束を取り

付けた。

彼女が帰ってきたのは、午後7時を少し過ぎた頃。

かなり酔っているのか、靴を脱ぐのもおぼつかないようだ。

どうやら収穫がなかったらしい。彼女はテレビに抱きつくようにして倒れ込んだ。

習慣的に手が動き、スイッチを入れる。

ニュース番組。

高速道路で衝突死。

良くある事故だと思ったが、彼女は名前を見て、思わず立ち上がる。

それはさっきのクイズ番組の解答者だった。

事故現場は凄惨を極め、立ち上がる煙りと一緒に札ビラが舞っている。

とても他人事には思えなかった。

見物目的でそこにいたはずの人間たちは今や金を拾い集めることに夢中だ。

叫びたくなった。その金に手を出すな、と。正しかったはずだ。

私たちは何も悪くない。

初めからやり直せないのだろうか。誰でもいいから言って欲しい。全ては嘘だった、と。



(後書き)

エイプリルフールが過ぎて、念のためもう一日待ったが、誰も嘘を  
ついてくれない。僕はきつと騙しがいのない奴なのだろう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7685b/>

---

再生

2010年10月15日15時10分発行